

第5回環境楽習会開催のお知らせ

二次案内

環境を心で学ぶとは何か、素のままの美しい暮らし (sobibo) を探して、幸せになるように楽しく、深く語り合い、学び合うことです。物の豊かさばかりではなく、心の豊かさを求めて、そのままの美しい暮らし、自給知足するように向かうことです。ゆっくりと定常社会に移行しようということです。

地球環境問題など暗い現実ばかりを挙げて恐怖心を煽り、皮相な対策を教え込む環境教育では、課題解決はできません。複雑な生活環境を本質的に、あるいは根底的に、分析的に認知するだけでなく、さらには統合的に洞察して、環境楽習により解決に向かうようにしたいです。ここには、科学的な事実分析、総合的な関係認識、統合的な熟考理解による構想力が求められます。さらに、大事な点はファンタジー、想像力を逞しくして、一層、心の構造と機能を鍛える生涯学習過程を社会的にも勧めることだと思います。

参加申込みをしてくださった方には当日配布資料をメール添付でお送りします。

○ 第5回環境楽習会

○ 日時：2月27日(日) 10:30~12:00

○ 場所：オンライン (zoom) のみ (定員：100名) *環境楽習館が修理工事のため閉館中。

○ プログラム：話者：渡辺隆一さん (信州大学)

話題：(仮) 自然との共生と地域の再生

渡辺隆一さんは信州大学教育学部の附属志賀自然教育研究施設で、植物の生物季節を研究しながら、環境教育を研究普及してきて、次のように考えた。様々な環境問題を紹介し地球の危機を訴えても個人の行動にはなかなかつながらない。心と体の成長期である小学生ほど環境に関心が高く、また危機感を持っているので、子どもは地域の中で遊び、大人はその中で地域の課題を提示するという共育の仕組みを再構築すべきだ。地域の自然が育ててきた暮らしと文化、歴史、さらに人類が歩んできた進化の過程まで大きな歴史の流れとして、過去を学ぶことが未来にどんな地域を創造してゆくのかの知恵と工夫の源泉になる。

○ 協催：小金井市環境市民会議/環境学習部会、NPO こがねい環境ネットワーク、NPO 自然文化誌研究会/植物と人々の博物館、NPO 環境文明21

○ 申込み連絡先：kibi20ki.jin@yahoo.co.jp 木俣美樹男 (企画室事務担当)

*このゼミの動画、話題資料などは、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、互いに体験と知識など学び合う環境学習市民連合大学の下記サイトで一般公開します。

<http://www.milletimplic.net/university/civicues.html>

○ ZOOMのURL：オンライン・アクセス先

<https://us06web.zoom.us/j/85894055433?pwd=akxtW1FNNG5pcG5aUUGwc0YxWUVTZz09>

環境学習市民連合大学は環境学習の理論と実践を普及啓発する目的で、ウェブサイトを作っています。主旨は、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、自らが学び合う環境学習市民連合大学をリンク・ページとして、インター・ネット上で運営することです。ヨーロッパの12世紀ルネサンスの先駆けとなった大学の萌芽は学び合いたい人々の学習者組合でした。教師も学生も互いに学びの自由を守護し合い、共助していました。入学資格、試験、授業料、卒業資格はありません。どなたでも、学び合いたい人々が自由に集まるのです。今この時に、人生における学ぶ意味について改めて考え直したいです。この市民大学は任意無償提供の学習素材、任意寄付で維持します。この提案にご賛同の方々の参加(リンクなど)を広く求めます。よろしくご連絡をお願いします。最近の録画、話題資料メモは上記サイトにあります。